

令和 6 年度

自己点検・自己評価・学校関係者評価 報告書

令和 7 年 3 月 7 日

静岡医療学園専門学校

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念	令和6年度 重点目標	重点目標・達成状況	課題と解決方法
<p>【教育理念】 「理想の未来」の種をまく！！</p> <p>【教育の目標】 自学自習の出来る人材の育成 人間性教育 実学教育 教養教育</p>	<p>【学生教育の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生の教育の充実 ・3年生国家試験対策強化 ・特色ある教育の展開及びカリキュラム改善により選ばれる学校づくりに取り組む。 ・卒後研修の再開 ・外部臨床実習への対応 ・卒後研修の再開 <p>【学生募集活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の定員確保に向けた募集活動を実践する。 	<p>【学生教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制度による補講の充実により1・2年次における学習のサポートが徹底できた。 ・国家試験対策は年度早期から個々の学習進度に合わせた対策が実現できている。 ・カリキュラム改善により科目間の繋がりが強固となり、理解しやすい授業展開が可能となった。 ・外部臨床実習では、受入先施設から、学生の実習に取り組む姿勢についていくつか指摘があった。 <p>【学生募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①鍼灸学科は目標である30名を達成し、柔整学科昼間部も募 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験不合格者が一定数みられる。1・2年次の学習サポートを引続き行い、定期試験不合格者数を軽減したい。 ・国家試験に向けた自主学習力が低い。補講授業と並行して、充実した自主学習を実現するための指導を行っていきたい。 ・学習内容を理解しやすいカリキュラムとなるよう、今後も継続して改善点を検討する。 ・外部臨床実習開始前の事前指導を徹底し、実習に対する意識改善を行う。 <p>課題 夜間部はターゲット層の変化や新卒の減少により、募集が厳し</p>

		<p>集時点では目標の 29 名を確保。しかし、入学辞退者が 3 名発生し、最終的に目標未達となった。柔整学科夜間部は目標 15 名に対し、11 名の入学にとどまった。</p>	<p>い状況が続く。以前からブランドイメージの刷新や付加価値の創出が必要と指摘していたが、十分な対応ができず、予想以上の減少スピードとなった。また、経済的理由による辞退者が増加しており、費用面のサポートも課題となる。</p> <p>解決方法</p> <p>来年度の組織体制の変化を活かし、夜間部の魅力向上に着手。新卒層向けの広報強化、社会人層への再アプローチ、学習環境や支援制度の見直しを進めるとともに、企業奨学金制度の整備を検討し、費用面での不安軽減を図る。再来年度の募集につなげるため、広報の説明や広報物の改善も継続する</p>
--	--	--	--

● 1 教育理念・目的・人材育成像

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） 4	本校 HP の沿革、学生生活の手引きパンフレット等に掲載し校外に周知をしている“「理想の未来」の種をまく！！”	
2.学校における職業教育の特色は明確になっているか 4	医療の特色、資格の特徴として、スポーツや介護福祉、美容など様々な分野で即戦力となれるよう取り組んでいる	経験の差、職場環境の違いで理解度が人により異なる。理想と現実の差がある為すべてを網羅することが難しいが夢を与えられるような展開をしたい
3.社会のニーズ等踏まえた学校の将来構想を抱いているか 3.8	専門家の意見を取り入れ高齢化社会や予防医療、トレーナー、幅広い知識を持った人材育成に取り組んでいる 時代の流れを把握しそれに沿った教育を進める 学生へ外部情報・講習会などを伝え幅広い人材の育成を目指す	業界との連携 +SKILL コースの充実
4.学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか 3.6	本校 HP やパンフレット、手引きなどに掲載し、校外への周知をしている 学校の理念、育成人材像を学生の意識に浸透させ、目標を明確にして学習に取り組めるようにする。	周知していても見えていない理解していないが多い。浸透するように策が必要。
5.各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 3.8		

大項目総括	学校関係者評価
<p>本校の、理念・目的・育成人材像をもとに学校運営を実施。教職員共に日々改善をもとに取り組みを行った。さらなる充実は今後も課題となる。</p> <p>よりより学校を作るよう切磋琢磨する</p>	<p>教育理念目的をしっかりと理解し伝える。視野を広く持ち広範囲の情報収集、自らアンテナを高くして人生設計ができる人材育成を目指す。コミュニケーション能力を高めることが重要。鍼灸師会、柔道整復師会含めもっと他業種と連携をして学校運営、業界の発展を考えたい。</p>

● 2 学校運営

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
<p>1.目的等に沿った運営方針が策定されているか 4</p>	<p>理事、学校幹部を中心に教育理念の見直し、運営方針の再検討を実施 あらゆる方向から「考える」を実行。</p>	<p>議論できる環境を構築し方向を決める。 意見を言える環境を作る。</p>
<p>2.運営方針に沿った事業計画が策定されているか 3.6</p>	<p>目標を決めそれに向けた事業計画を作成 運営方針をもとに年間行事予定を作成 自分を知る研修会を実施</p>	<p>目標を理解し話し合い全員で計画を練る 学生目線で考えて計画 進捗状態の確認も必要</p>
<p>3.運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか 3.6</p>	<p>理事との情報共有をして適切に行っている 新規採用で組織体制を強化</p>	<p>組織として有識者により判断する事検討すること 必要</p>
<p>4.教員の資格要件、採用活動を行っているか 4</p>	<p>必要要件は満たしているが常に核となる人材を探している。</p>	<p>資格要件を満たす人材が少なく確保が難しい。</p>
<p>5.教務の組織体制を整備、授業評価などを実施し、スキルアップ研修などは整備されているか 3.8</p>	<p>定期的に評価を実施し、研修会を開催している。</p>	

6.人事・給与に関する規定等は整備されているか 3.6	規定等を作成している 職員の制度理解促進に力を入れたい	
7.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか 3.8	HP等で情報効果を実施	浸透するような取り組みが必要。
8.情報システム化等による業務の効率化が図られているか 3.4	システム化から時間が経っているものも多く、アップデートされていないものも多い。	規模的にこなせる範囲であるが、システムを検討中。学生管理システム・学習システム・電子カルテ等活用。費用対効果を考え選定する必要がある。

大項目総括	学校関係者評価
組織的運営に向け法人と学校の協力体制を強化することが求められる。 長期的な課題。 何事にも目的目標をもつ。 対話を大切により良い学校を構築していく。	法人の求めるものを明確化し、議論をして落とし込むことが必要。 経営と現場の連携体制を強化することが大切。 システム等他校との情報連携、業界の情報収集が必要

● 3 教育活動

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.教育理念に沿った教育課程の編成方針、実施方針をさだめているか 4	教育課程編成委員会を設置し、外部意見を参考とする	教育課程の編成後、年度ごとに全教職員による見直しを実施したい。

2.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科ごと修業年限に対応した教育到達レベルを明確にして学習時間の確保は明確にされているか 3.8	組織編成を実施。教務部長、各学科の学科長がシラバス、授業評価などを把握し教育到達レベルを決定、また目標を立てそれに向けた計画を作る	学科連携 国家試験合格レベルに到達するために必要な学習時間が膨大となるため時間の確保が課題である。
3.カリキュラムは教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 4	教育課程編成委員会と理事、教務で対応している毎年ブラッシュアップをして取り組んでいる。人材育成、就職や将来を見据えたカリキュラム変更を実施、教育体制の流れをつくる	教育課程の編成は行えているが、全教職員による見直しを実施したい。
4.講義及び実習に関するシラバスは作成されているか 4	すべての授業においてシラバスが作成されている。	
5.キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などの工夫、開発が行われているか 3.8	入学前学習からキャリア教育、各コース、企業説明会と3年間を通した取り組みをしている	自主学習を促す教育についての開発が課題である。 より良いキャリア教育を実施できるよう体制を整えたい
6.関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか 4	連携見直しを行っている	
7.適切な評価体制を有し、授業評価をしているか 4	授業評価アンケートの他、教職員による授業見学を実施し、意見交換や見直しを行っている	学生の要望をどこまで聞き入れるのか
8.評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか 3.8	授業改善を行っている	

<p>9.関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ外部関係者からの意見を取り入れているか</p> <p>3.8</p>	<p>実践的な臨床実習が実施できている。</p>	
<p>10.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</p> <p>4</p>	<p>毎年、学生生活の手引きに明記し周知確認をして適切に評価を行っている</p>	
<p>11.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>4</p>	<p>各学年における目標を設置、模擬試験、個別指導、チューター制度取り入れなど積極的に行っている</p> <p>補講授業、勉強合宿を実施</p>	<p>学生の気持ち、熱意を大切にす</p>
<p>12.人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>4</p>	<p>各学科において法定人数を確保し要件を満たした配置をとっている</p>	
<p>13.教員の関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか</p> <p>4</p>	<p>質向上の為、学科を越えた教員同士での意見交換や、研修等への参加を実施</p>	<p>知識・技術向上を行っていきたい</p> <p>学生のメンタルケアができるように研修等を実施したい</p>
<p>14.キャリア教育を行い、学生の社会的職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか</p> <p>4</p>		

大項目総括	学校関係者評価
毎年変化する学生の質、問題の傾向などしっかり把握し指導をしたい。 原点に戻り課題を一つ一つクリアできるよう活動したい。 学生の将来を見据えた教育を落としたい。 国家試験の分析、対策をより強化することが重要。 学力の底上げ。 茶髪・ピアスなど時代もあり指導は難しい多様化の時代。	これからも教育目的、目標を達成できるよう継続的に進めてほしい。 外部の有識者とのつながりを広げより良い知識や技術を学生に落とししてほしい。 モチベーションを保ち自学自習につなげてほしい。

● 4 学修成果

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.学科コースを通して修了時に学習者の状況进行评估しているか 4	適切に成績評価できている。	
2.職員と就職目標の共有、就職率の向上が図られているか 3.8	ここ数年就職率100%を達成し、面接指導等積極的に行っている 研修を行うことで全教職員の意識の共有が図れている。	外部説明会への参加を広げる 意識が低い学生、活動をしない学生をどのように持ち上げるか課題。
3.資格の取得目標、資格取得率の向上が図られているか 3.8	問題に慣れる、精神面での強化、試験の分析、マンツーマン指導、国家試験対策など様々な取り組みを行っている 開場模試など本番を想定し実施	ケアレスミスを防ぐ対策や、緊張を和らげる対策 文章の読解力など基礎学力強化 メンタル強化

4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 3.4	卒業後の状況把握はさらに積極的に行っていきたい。	卒後のヒアリング機能がない。 コミュニケーションツールを検討中。

大項目総括	学校関係者評価
<p>1年次から段階的にしっかりとした計画で指導する。</p> <p>保護者を取り込むことで教育体制や事前の対策ができるようにする。</p> <p>国家試験のデータ、流れの読みは最重要課題で常にアンテナを高く情報収集する必要がある。</p> <p>メンタルの弱い学生に対しての対策が必要である</p>	<p>問題の難易度を上げ危機感を持たせる。</p> <p>考える問題の対策をすることも大事。国語力を身につける。</p> <p>書きの試験を増やし理解度をあげる。</p> <p>1年次から計画的に対策を実施することが必要。</p> <p>入学→卒業→就職までサポート。</p> <p>教員がしっかりと強い思いをもって指導。</p> <p>基礎学力向上に向けた取り組みが必要。</p> <p>卒業生の管理ツール、卒業生の現状を把握するようにリスト化。</p>

● 5 学生支援

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか 3.8	<p>学校就職説明会を2回実施</p> <p>面接指導、履歴書の書き方など個別指導を実施</p> <p>担当制にして活動を把握している</p>	<p>教職員誰もが同じクオリティーで指導できるようにしたい。</p>

<p>2.学生相談に関する体制は整備されているか 3.8</p>	<p>教職員全員が対応できるよう情報共有や、指導方針を整備している カウンセラーを配置している 学生と積極的に関係を持ち信頼関係を作る</p>	<p>精神的な事柄に対応できる人材が必要 学生のサインを見逃さないよう注視していくことが大切</p>
<p>3.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 3.8</p>	<p>募集要項・HPなどで周知。学校の制度の確立を目指す 給付金案内など SNS を活用し周知・申請させている 個別面談で事前にアナウンス</p>	<p>制度の理解度をあげる 3年間の学費計画を考えさせる 学校独自の奨学金制度の確立。</p>
<p>4.学生の健康管理を行う体制はあるか 3.6</p>	<p>年1回健康診断を実施。 換気、エアコンの温度調整 清掃業務</p>	
<p>5.学生の生活環境への支援（課外活動、アパート探し、）は行われているか 3.6</p>	<p>寮などの設置はないが不動産業者の紹介など支援をしている</p>	<p>ツールをつくり新入学予定者へもっとサポートをする</p>
<p>6.退学率低減が図られているか 3.8</p>	<p>アットホームな学校を目指し、電話連絡、個別面談、保護者面談等フォローを行い早期に対応できるよう心掛けているまた 保護者との連携を強化</p>	<p>経済的な対応策 個別フォロー強化</p>
<p>7.保護者等の連携体制を構築しているか 3.4</p>	<p>個々での面談を実施し情報共有を行っている</p>	<p>保護者会・面談など積極的に取り入れ自宅等での学生の管理指導をおねがいはする</p>

8.卒業生への支援体制を整備しているか 3.6	卒後研修会実施（年4回） 卒後のフォローにも力を入れている 資格未取得者に対するフォローを実施 学校情報・業界情報を配信	卒業生リストの見直し コミュニケーションツールを模索
9.高校との職業教育の取り組みが行われているか 3.4	高校内で授業を実施、職業教育を行っている	
10.社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか 3.6	夜間部を設置し仕事をしながら通学できるよう整備 ビジネスコースでさらにスキルアップ	新卒と社会人が学生にいるためどちらに合わせるのかバランスが難しい

大項目総括	学校関係者評価
<p>学生支援は学校運営において大切な部分の為今後も力を入れなくてはならない部分である</p> <p>コロナの影響を考慮し指導変化を進めなければならない</p> <p>計画的に、目標を持ち取り組んでいきたい</p>	<p>ハード、ソフト面共に改善できるよう検討してもらいたい。</p> <p>卒業生への対応を強化</p>

● 6 教育環境

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
<p>1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備・補修等されているか（図書館整備、機材、備品等）</p> <p>3.8</p>	<p>施設設備のメンテナンスを順次必要となっている 慢性的に自習スペース、待機スペースが少ない</p>	<p>各学科の時間が違うため先客がいる場合勉強スペースが確保できなくなる 年々老朽化がすすみ手を入れなければならない部分が多くなっている 学年により勉強に取り組む熱量が違い環境が整わない場合もある</p>
<p>2.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育訂正を整備しているか</p> <p>3.6</p>	<p>外部研修を実施 海外研修の案は出ているが現状難しい 担当できる教員がいない</p>	<p>外部実習場所のさらなる拡充 校内実習の実施</p>
<p>3.防災に対する体制は整備されているか（消防設備、防災訓練、備品確保）</p> <p>3.8</p>	<p>消防法で定められた基準を満たし届け出をしている 年2回防災訓練を実施 職員で防災担当班を設置しより具体的に各シーンで対応が可能となった</p>	<p>備品の管理</p>

大項目総括	学校関係者評価
定期的に施設設備の改修工事を計画・実施。 今後も都度検討実施していく。 部分部分を改装おしゃれな学校、見える学校を目指したい。	老朽化に伴うメンテナンスを行う。 リフォーム、使い勝手を考慮しながら計画する。 業界と連携し情報共有をしたい。

● 7 学生の受け入れ

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.学生募集は適切に行われているか 高等学校等接続する教育機関に情報提供に取り組んでいるか 4	校内ガイダンスや高校訪問を実施し情報交換をしている、また入学者の状況・就職情報の交換を行っている 退学者に関しても状況等高校へ説明・情報共有をしている	積極的に繋がりを持ちパイプを太くすることが求められる 多角的に繋がれるように検討
1.学生募集は適切に行われているか 4	規定に則り時期等適切に実施している SNS ブログ更新など積極的に行った ネット広告を有効活用し分析 2年生対象とする活動を強化	入学に繋がるよう内容を精査 学校の知名度を上げることや夜間部募集の強化が必要 教職員一丸となって対応することが大切
2.選抜方法、選抜基準は正確に伝えられ公正かつ適切に入学者選抜を行っているか 4	募集要項、HPなどに明記し周知している	
3.学費等納付金は妥当なものとなっており、募集要項に受験料、学費、教材費等明示されているか 4	学納金は、募集要項、手引き、HPで周知している	

大項目総括	学校関係者評価
少子化、コロナなどの問題をしっかり把握し、より戦略的に広報活動を実施し、高校生のトレンドを知る。 変化に対応できる募集計画と活動に心がける。	継続的に取り組んでもらいたい。 高校生の目線で話や実習を考えてほしい。 いろいろなつながりより推薦してもらえるような環境を整備する。

● 8 財務

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか 4	鍼灸、柔整昼と定員を充足することができたが、少子化に伴い学生募集が苦しくなることを見込み経費削減や退学率を抑えるようにしたい	
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか 4	理事会、評議委員会などを実施し計画・報告をしている	
3.財務に関して会計監査が適正におこなわれ、理事会評議委員会に報告しているか 4	会計監査は監事が適切に行っている	
4.財務情報公開の体制整備はできているか 4	財務情報はHPで公開している	

大項目総括	学校関係者評価
財務に関する管理は、理事、監事、評議員を中心に行われる	今後も監事等含め規定に則り運営をしてほしい。

● 9 法令等の法令遵守

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.法令、専修学校設置基準の遵守と適切な運営がなされているか 4	学校教育法、専修学校設置基準、養成施設指定規則等遵守し適切に運営をしている	
2.個人情報について 3.8	募集要項、学生生活の手引き等案内をして適切に処理をしている	
3.自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか 3.8	個々への確認等実施し学校関係者評価へ提出し対応している	
4.自己評価結果を公開しているか 4	自己評価結果はHPで公開している	
3.学校関係者評価結果の実施体制を整備し評価を行っているか 4	学校評価委員を設置し会議を開催、評価をしている	
4.学校関係者評価を公表しているか 4	学校関係者評価結果はHPで公開している	

4.情報公開を積極的に行っているか 4	HP で公開している	

大項目総括	学校関係者評価
各規程・基準に則り適切に運営を行う これからも継続的に進める	法令遵守で継続的に運営してほしい。

● 10 社会貢献・地域貢献

小項目（評価）	取り組み・自己点検・自己評価	課題
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 3.6	地元の中学校にキャリア教育への協力が中止 地域清掃 トレーナー活動を活用していきたい 学校施設貸出 駐車場貸出	
2.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか 3.6		
3.学生のボランティア活動を支援しているか 3.2	学生ボランティアとして県や市のイベント、スポーツ大会の救護補助など参加 柔整師会の静岡マラソンをサポート 清掃活動は月2回実施	希望者が出なく、学生の導入がなかなか進まない状況。

大項目総括	学校関係者評価
社会貢献・地域貢献に積極的に参加して行きたい	各会等連携をしてボランティア活動に積極的に参加するよう情報共有をしていきたい。